

1年ほど前に調布市で起きた食物アレルギーによる小学生児童の死亡事故は、まだ皆さんの記憶に新しいと思います。乳製品アレルギーを有する児童が誤ってチーズ食品を摂取してしまい、いわゆるアナフィラキシーショックという強いアレルギー反応で死亡するという痛ましい事故でした。では、このアナフィラキシーショックとは一体何なのでしょう？

さまざまな食物や注射・薬剤、虫刺され（特にハチ毒）などに対してアレルギーを有する人が、それらの物質からの刺激を受けて、じん麻疹、口唇や眼の結膜などの粘膜の腫れ、嘔吐・下痢・腹痛、喘鳴（ゼーゼーする呼吸）や呼吸困難、チアノーゼ（皮膚や粘膜の血の気が無くなる）、意識状態の悪化、血圧の低下などの症状が生ずる状態をアナフィラキシーショックと呼んでいます。これらの症状は原因となる物質を摂取あるいは接触してから短い場合は数分以内に、長い場合には数時間後に生じ、迅速かつ適切な治療・処置がなされずに状態が悪化した場合には、生命の危険さえも考えられる非常に強いアレルギー反応です。ですからアナ

フィラキシーショックの症状が強い場合には、一刻も早く医療機関での治療が必要になります。このようなショック症状を起こした患者さんに対して、医療機関に運ばれる前にショック症状を生じた現場での一時的な緊急処置として非常に有効な方法があります。それがエピペン注射です。エピペンを注射することによって、ある種の薬剤が体内に入り、心臓の働きを強めて血圧を上昇させ、気管支を拡げて喘鳴や呼吸困難を改善させる効果を発揮します。これらの効果は注射後10分位で現れますが、効果の持続時間は10〜15分程度です。から患者さんが医療機関に運ばれて治療が開始されるまでの一時的な緊急処置法ではありますが、現場での緊急対処法として非常に有効な方法であると考えられています。

エピペンの種類は含まれる薬剤量によって2つの製品があり、体重が30kgより重いか軽いかによって使い分けられ、太ももの前外側に押し当てるように注射針を刺します。大方の場合、緊急性が高いので衣服の上から注射しても構わないとされています。ただ、注射という非日常の慣れない行為ですから、注射による副作用などに大きな不安が生じることでしょう。しかし、今現在目立って大きな副作用は考えられておらず、ショック症状の生じている現場での緊急的な対処法としての有効性の方がはるかに大きいと言われています。また、エピペンの使用者は原則として患者さん本人ですが、緊急性によっては救急救命士、保育士、教職員も使用でき、その場合エピペン注射は医療行為には当たらないとの解釈によって医師法違反にはなりません。そして注射を打つことによって生ずる有害事象も、事前に保護者と教育施設側との十分な話し合いがなされていれば注射行為による責任や刑罰は生じないと考えられています。

食物アレルギー児が増加している現状を考えると、乳児・学童・生徒が生活・活動する場でアナフィラキシーショックが生じる可能性は、今後ますます増えると考えられます。現場でのエピペン注射が救命の一助になるチャンス逃さずに迅速かつ適切に用いられるよう、エピペンに関する情報が十分に周知され、尊い命が失われないことを願っています。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)	
2	2	朝霞	清水小児科医院	小	466-5310	新座	静風荘病院	内・呼内・消内・循内	477-7300
	9	新座	宮崎医院	内・小	042-474-0458	志木	たなか整形外科クリニック	整外・リウ・リハ・麻	486-1010
	11	朝霞	渡邊クリニック朝霞	精・内	467-3584	和光	和光クリニック	内・アレ・リウ	468-2115
	16	志木	かまた内科クリニック	内・消内・糖内	472-7070	和光	佐々木眼科医院	眼	467-0071
	23	朝霞	ひるま小児科クリニック	小	466-0320	新座	守屋医院	外・内・皮泌・消内・肛・放	479-8855



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

※2月の休日歯科応急診療所
実施日 2月2日(日)・9日(日)・11日(火・祝)・16日(日)・23日(日)
受付時間 午前9時～11時30分
場所 新座市休日歯科応急診療所（新座市保健センター）
診察料 健康保険法の規定料金（保険証を必ずお持ちください。）
問い合わせ ☎048-481-2211

※救急医療のお問い合わせ
●埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
●埼玉県南西部消防本部 ☎048-460-0123
※小児救急電話相談
●#8000（携帯電話からも相談可能）

☆今月の主な保健衛生週間行事予定 17日～23日は「アレルギー週間」です！